

## 6.アンケート地区別分析項目

TU130121

### 6-2.藤沢市親の会 会員アンケート結果分析項目

#### ①アンケート回収状況(アンケート属性、件数データ集計結果)

##### 1)回収率

回答件数	19 件
総発行数	32 件
回収率	59.4 %

##### 年齢構成

年齢	人数	男	女
7	1		1
8	1	1	
9	1	1	
10	1	1	
11	1	1	
12	1	1	
14	1	1	
15	1	1	
19	2	2	
20	2	1	1
21	1	1	
22	1	1	
24	1	1	
37	1	1	
38	2	2	
45	1	1	
合計	19	17	2

##### 2) 日中活動の場

	件数
21 通常級	2 名
22 支援級	3 名
23 特別支援・養護学校	3 名
32 専修校	名
34 通信制	名
35 特別支援学校	名
51 通所福祉施設	9 名
52 入所	1 名
61 普通企業	1 名
合計	19 名

##### 3) 障害者手帳の状況

療育手帳 A1	7 名
A2	4 名
B1	1 名
B2	4 名
B3	1 (神奈川判定B2)
精神 2級	1 名
無し	1 名
合計	19 名

##### 4) 記入者

本人	0 名
家族	19 名
合計	19 名

##### 5) 住んでいる所

自宅	18 名
GH	0 名
入所	1 名
合計	19 名

#### 2 総回答件数状況

1) NO	質問項目	○良 かった事	● 困った事	20 望む事	30:合 理的配 慮	合計 件数	%
NO1	療育・教育	36	69	18	19	142	25.4
NO2	障害児支援	27	40	15	4	86	15.4
NO3-1	働く(一般就労)	6	2	1	1	10	1.8
NO3-2	働く(福祉就労)	14	15	8	6	43	7.7
No4	医療	37	25	14	6	82	14.6
NO50	警察や交番・司法	8	15	6	2	31	5.5
NO6-1	生活支援(店舗等)	18	9	2	4	33	5.9
NO6-2	生活支援(公共交通機関)	5	8	4	4	21	3.8
NO6-3	生活支援(消費生活等)	1	6	4	0	11	2.0
NO7	生活(住まい)	9	20	7	0	36	6.4
NO8	救急・消防・災害	11	8	9	3	31	5.5
NO9	政治参加	2	3	2	4	11	2.0
NO10	社会参加	10	10	3	0	23	4.1
	合計	184	230	93	53	560	100

##### 2) 自由記入

NO	質問項目	件数
10	困った事	10
20	助かった事、親切だった事	4
30	アンケートへの感想、意見	4
40	会への要望、意見	1
50	その他	8
	合計	27

## ②生活シーンNO項目別回答コメントの分析概要報告(藤沢)

### NO1 療育・教育

- ・障害告知がされず、障害理解と早期療育が遅れる。家族への寄り添った支援が無い。専門性に欠けているため、子どもに適切な療育がされていない。
  - ・就学後も支援学校を含めて、専門性が低く、個別支援教育とならない場合がある。指導は、言語中心で、支援グッズは言うことを聞かすためものとして、教員が誤使用している。本人を軸とした支援の意識が低く、教員によって支援や対応に格差がある。
  - ・本人に寄り添った教育をする担任なら良いが、二次障害になってしまう子どももいる。
- (望む事として) 個々の障害特性を理解し、将来を見据えた指導と支援  
認知力など発達段階をとらえ、確かなアセスメントを基に行われる療育、教育。
- (合理的配慮) 自閉症の特性を理解した環境整備や発達段階に合わせた指導。

### NO2 障害児支援

- ・健診は、保護者が発達に気づき(不安)があるかないかで見立てに格差がある。相談をしても様子をみましょうという、回答で時間が過ぎてしまう。
  - ・スクリーニングをされない子もいて、早期発見、早期療育が遅れる。
  - ・児童相談所など何処に相談にいても、年度の途中であった為に、就学前の大事な時期であつても自宅待機になった。
  - ・教育、福祉、医療と連携がとれず、支援が確立されていない。
  - ・児童デイサービスなど預かり先はあるが、障害理解に差がある。個別に理解を得られているところは利用出来るが、専門性は低い。
  - ・18歳以上となると日中一時支援事業が少なく、緊急時の預け先が無い。
  - ・習い事はスイミング、塾など、対応してくれる所もある。
- (望む事として) 自閉症の理解  
成人になる見通しを立てた、個別のニーズに合わせた支援計画の作成と実行。
- (合理的配慮) 支援者が障害特性を理解した上での環境整備と支援。  
支援者を支えるコンサルテーションできる専門家と連携できる体制。

### NO3-1 働く(会社などの一般就労)

- ・本人の希望と就労先が一致し、ジョブコーチの支えが得られて、就労に繋がった。
- ・企業の理解が大きい、仕事サポートの人が相談にのってくれて、助かっている。

### NO3-2 働く(福祉的就労・施設・作業所など)

- ・支援者の対応の悪さ、特定な利用者とのトラブルで困っている。
  - ・視覚的な構造化を取り入れた物理的支援、職員の関わり方など、自閉症を理解した支援が実行されていない。
  - ・事業所によっては、家庭と連携をとり、作業に乗れるように工夫をしてくれて、職員の支援に助かっているという意見もある。
- (望む事として) 自閉症の特性理解と環境整備  
職員の専門性 (職員で本人の行動に差が出る)  
問題行動を起こしても、障害を理由とせず、原因を探る意識を持って欲しい。
- (合理的配慮) 障害特性を理解し、職員の支援技術も含め、働く環境を整備する。

### NO4 医療

- ・予め相談に行ったが、障害理解が得られず診察拒否をされた。
  - ・理解のある医院では、待合、時間、順番、診察に薬に配慮してくれる所がある。
  - ・神奈川歯科大や藤沢市障害児歯科診療所は、障害理解があり、家庭と連携をとり支援を組んで安心して検診や治療が受けられる。
- (望む事として) 全ての診療科、医療従事者に自閉症を理解してもらいたい。  
脳波検査や採血の練習が自宅で出来るようにグッズがあれば良い。  
または、練習として貸し出しが出来れば良い。  
他の患者と関わらないように別の待合室があると良い。
- (合理的配慮) 障害特性に合った診察。  
医療行為に視覚的な支援をとり入れ、本人が納得して受けられる。

### NO5 警察や交番・司法

- ・配送の仕事、不審者通報・逮捕。冤罪だったが、謝罪が無くうやむやにされた。
  - ・幼児期は要援護者として、理解がある対応に助かった。
  - ・しかし、捜索願いを出した時に管轄外という扱いをされたこともあった。
- (望む事として) 自閉症の理解。  
言動が問題的に見られ、誤解を受けやすく、地域生活ではトラブルに巻き込まれ易いです。差別と偏見から守って欲しい。
- (合理的配慮) 被害者・加害者となりやすい、何よりも障害特性の理解。  
一般的な関わり方でなく、口答の説明・質問でなく視覚化した対応で本人と意思の

疎通を取る。  
考えや気持ちを表現できない為、代弁者(本人をよく分かる人)を側に付き添わせろ。

#### NO6-1 生活支援(店舗・レジャー施設・余暇の場)

- ・コンビニなどでは、支援ツールを理解して対応してくれている。
- ・USJでは並ぶのが苦手な人への配慮をしてくれた。
- ・本人の興味関心を保護者が拾い上げ、理解のある場所では余暇活動が成り立っている。  
(望む事として) 自閉症の理解があり、本人に合わせたやり方ならばスモールステップで社会参加は出来る。
- (合理的配慮) 図書館など公共施設でも個室なら利用出来るので、準備計画をして欲しい。

#### NO6-2 生活支援(公共交通機関)

- ・電車やバスの中で騒いでしまう。また、騒ぎそうと思うので、使わない・使いにくい。
- ・パスモは、使いにくさがあるので改良されると良い。  
(望む事として) 障害理解  
新幹線には、障害者用トイレがあって助かるが、1車両でなく増やして欲しい。
- (合理的配慮) 駅員、バスやタクシーの運転手へ国土交通省発行のコミュニケーションハンドブックの周知をして欲しい。

#### NO6-3 生活支援(消費生活・情報アクセス・コミュニケーション保障)

- ・行政窓口の手続きが遅く、対応が悪い。
- ・ダイレクトメールや勧誘が来て困る。
- ・知的障害のある自閉症の人が役所の手続きに來たり、会議に参加すると言う発想が無い。  
(望む事として) 本人が発言する場がない。

#### NO7 生活(住まい)

- ・家族や近隣者の理解が得にくい。大変、気を使う。
- ・ケアホームの体験利用が出来ない。  
(望む事として) 入所施設やケアホームは、自閉症の支援について質を上げてほしい。  
親が病気になった時や親亡き後が非常に不安である。  
重度の人でも利用切れるできるケアホームがあると良い。  
床や窓の防音対策の助成金があると良い。
- (合理的配慮) 支援者が出来る範囲のことをやるというのではなく、個々のニーズに合わせた支援と工夫した関わりをする。

#### NO8 救急・消防・災害

- ・災害時の避難所生活を考えると、自閉症児者を抱えての生活に強い不安を感じている。
- ・避難訓練に参加しているが、現状では自閉症が避難出来る環境は無い。
- ・要支援者登録をしても、地域の民生委員や自治会長に障害理解が伝わっていないので不安である。  
(望む事として) 安否確認は民生委員に委ねているが、自主防災会の安否確認や避難所運営が機能するようにして欲しい。
- (合理的配慮) 災害時の対応に障害特性を理解したシステムを作る。

#### NO9 政治参加

- ・成年後見制度における選挙権の剥奪は止める。  
(望む事として) 選挙の立会人は、自閉症の人も来ることを知って欲しい。
- (合理的配慮) 選挙広報には、ルビを振り、記入場所には、立候補者名は、文字だけでなく写真もあると良い。

#### NO10 社会参加(地域、自治会、民生委員など)

- ・町内会の役員をやったことを機会に、障害についての説明が出来た。
- ・福祉会館がなく、障害者本人や親の会が活動する場が無い。一般市民のサークルと公民館を利用するが会場を競合している。  
(望む事として) 自閉症を地域の人に理解してもらうために、伝える場があればよい。

#### 全体としてのコメント

- ・講演会やセミナーがあっても通園・学校・職場と現場で特性に応じ配慮した関わりをしている方が見られない。
- ・親亡き後の生活に見通しが立たず不安でならない。
- ・家族だけでは生活が困難な時、相談支援専門員のスキルが低く問題解決にならなかった。
- ・人材育成が急務、制度があっても相談員の専門性の向上がなければ、相談支援事業所が機能しない。

以上